

平成25年度台風17号による豪雨と 管内の出水状況について

平成25年台風17号の影響により、四国地方では集中的な豪雨に見舞われました。四国山地砂防事務所管内においても、9月3日から4日にかけて集中的な降雨を観測し、吉野川上流域のつえ谷観測所では4日午前10時に時間雨量87mmを観測しましたが、管内で大規模な土砂災害発生はありませんでした。今回の出水状況と砂防施設・地すべり対策施設の状況をとりとまとめましたので報告します。

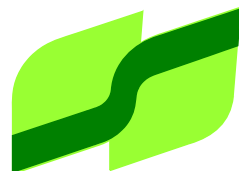
平成25年9月6日
国土交通省 四国地方整備局
四国山地砂防事務所

問い合わせ先
国土交通省四国地方整備局
四国山地砂防事務所
技術副所長 川西 浩二
調査課長 大谷 正彦
TEL 0883-72-0034

平成25年9月6日
四国山地砂防事務所

平成25年台風17号による豪雨と 管内の出水状況について

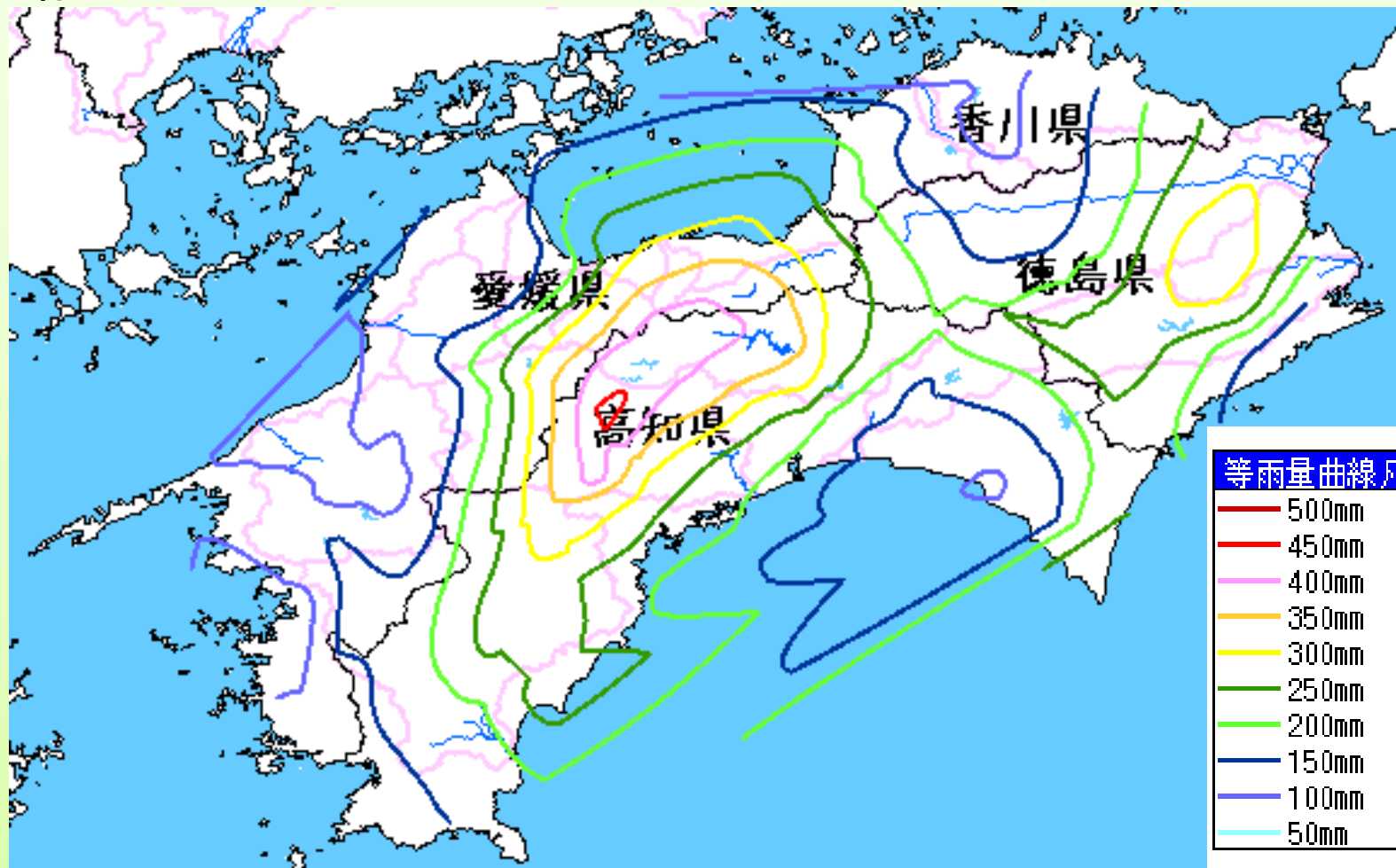
平成25年台風17号の影響により、四国地方では集中的な豪雨に見舞われました。四国山地砂防事務所管内においても、9月3日から4日にかけて集中的な降雨を観測し、吉野川上流域のつえ谷観測所では4日午前10時に時間雨量87mmを観測しましたが、管内で大規模な土砂災害発生はありませんでした。今回の出水状況と砂防施設・地すべり対策施設の状況を取りまとめましたので報告します。



大きな安全ー山系四国
四国山地砂防事務所

平成25年台風17号による出水状況(速報値)

等雨量線図

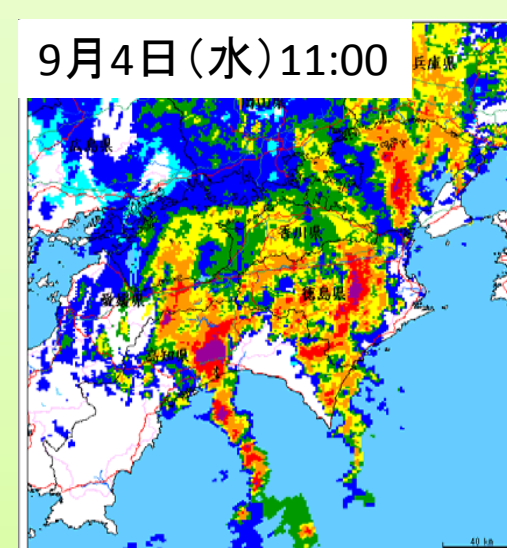
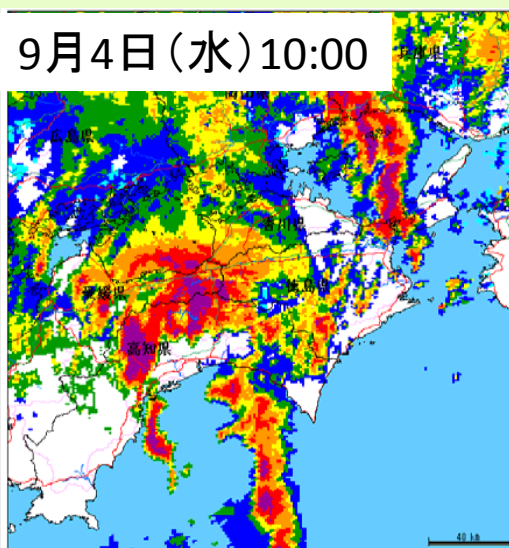
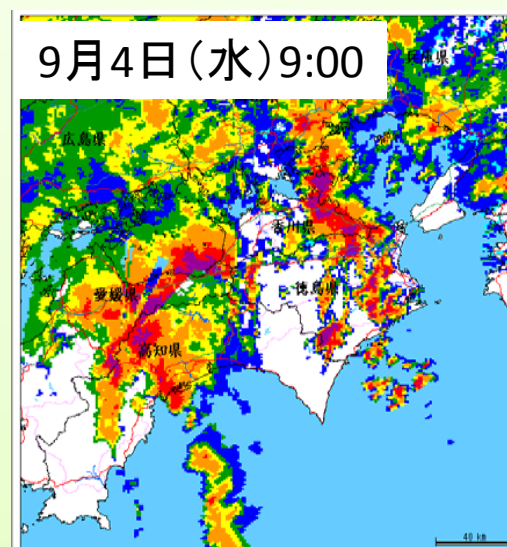
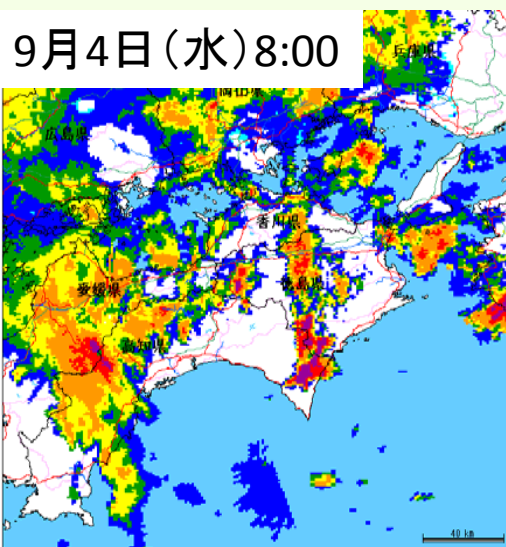


等雨量曲線凡例	
500mm	(Red line)
450mm	(Dark red line)
400mm	(Pink line)
350mm	(Orange line)
300mm	(Yellow line)
250mm	(Light green line)
200mm	(Green line)
150mm	(Blue line)
100mm	(Purple line)
50mm	(Cyan line)

データ種別：テレメータ雨量	観測所グループ：四国地整管内	
	累加時刻：2013/09/03 09:00～2013/09/04 18:00	累加時間：33時間

平成25年台風17号による出水状況

レーダー雨量



雨量凡例

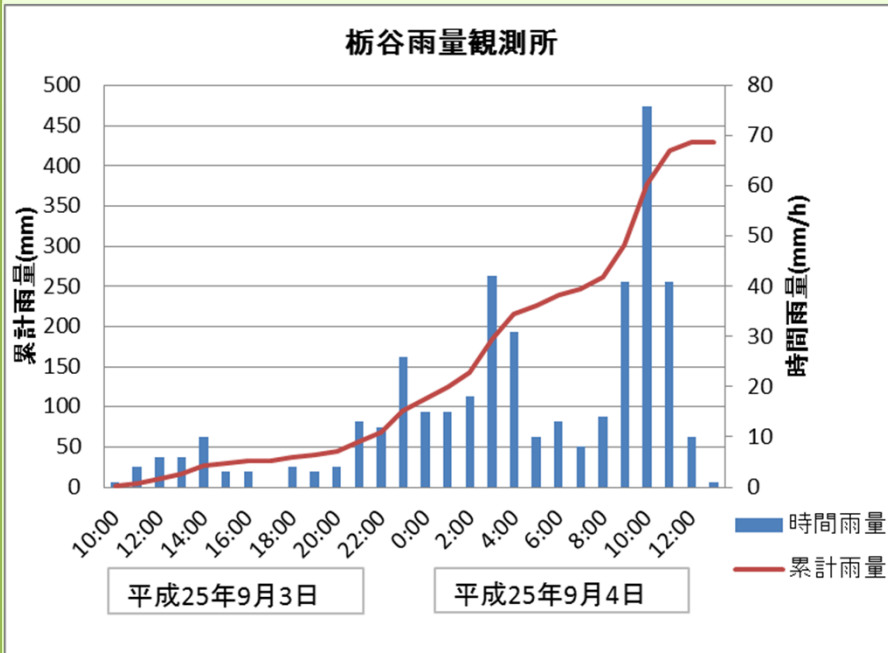
■	100mm/h~
■	~100mm/h
■	~50mm/h
■	~20mm/h
■	~10mm/h
■	~5mm/h
■	~1mm/h
□	0mm/h
■	欠測



平成25年台風17号による出水状況と砂防施設の効果 (吉野川上流域)

降雨の状況

四国山地砂防事務所析谷雨量観測所
(高知県吾川郡いの町大字長沢字析谷)



* 雨量は国土交通省「川の防災情報」のデータを元に作成したもので、累計雨量については平成25年9月3日9:00からの累計です。

出水状況(大川村つえ谷)



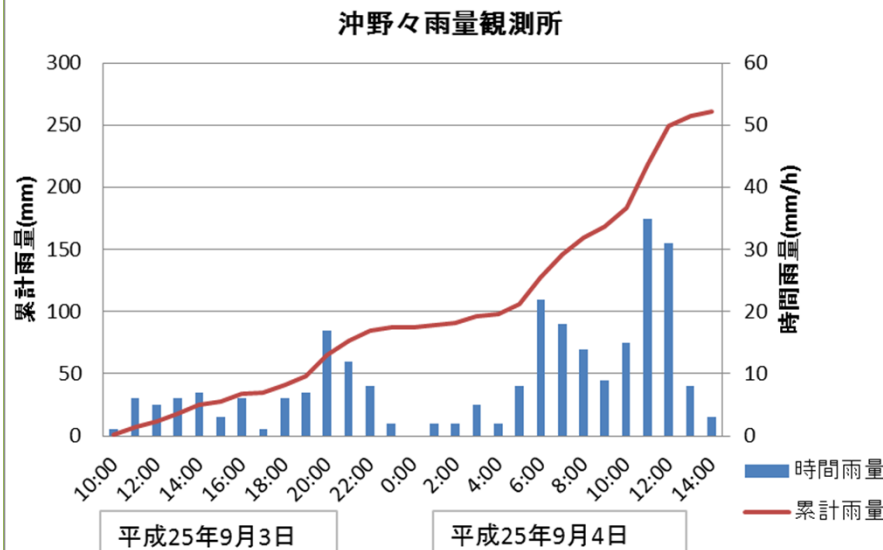
出水状況(大川村朝谷)



平成25年台風17号による出水状況と砂防施設の効果 (南小川流域)

降雨の状況

四国山地砂防事務所沖野々雨量観測所
(高知県長岡郡大豊町大字柚木字野岸)



* 雨量は国土交通省「川の防災情報」のデータを元に作成したもので、累計雨量については平成25年9月3日9:00からの累計です。

出水状況(大豊町南大王川)



地すべり対策施設の効果(大豊町怒田)

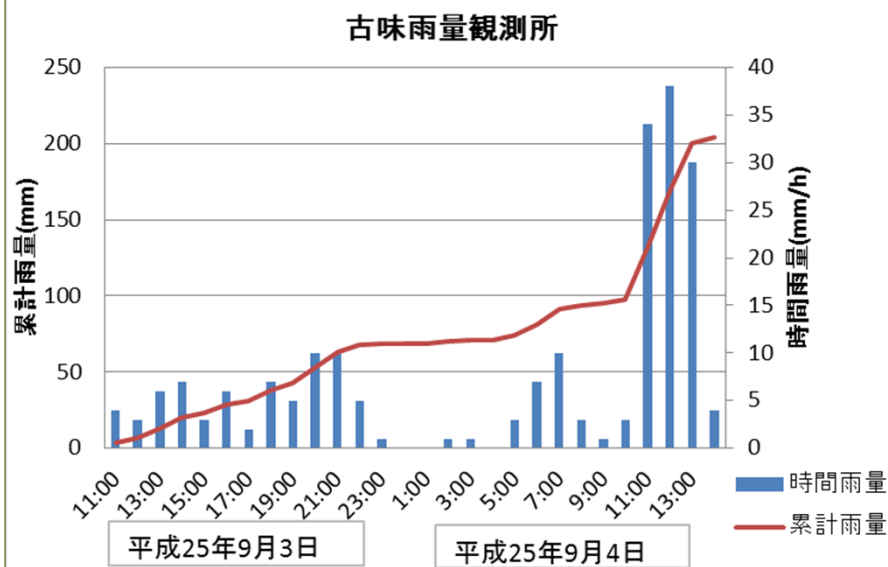


表面排水路が効果を発揮し、雨水の地下浸透を防ぐとともに、降雨水を集めて河川へ速やかに流下させました。



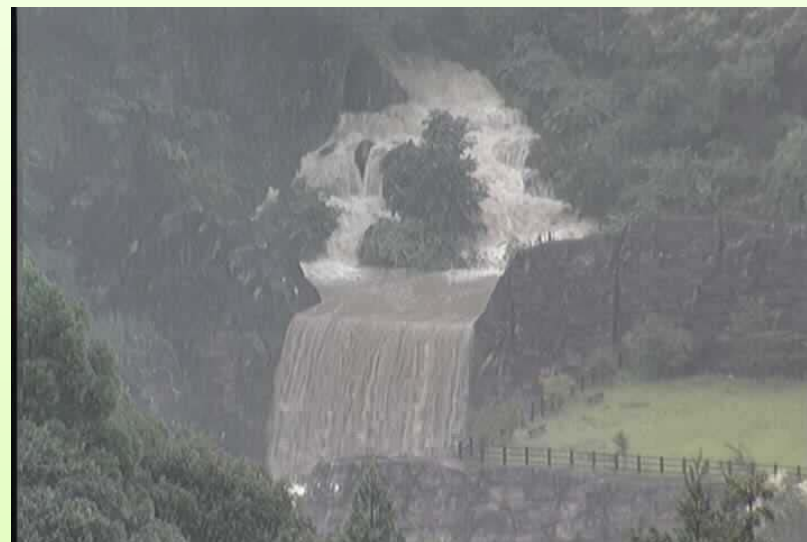
平成25年台風17号による出水状況と砂防施設の効果 (祖谷川流域)

降雨の状況 四国山地砂防事務所古味雨量観測所 (徳島県三好市東祖谷字古味)



* 雨量は国土交通省「川の防災情報」のデータを元に作成したもので、累計雨量については平成25年9月3日9:00からの累計です。

出水状況(三好市西祖谷山村今久保谷)



今久保谷堰堤

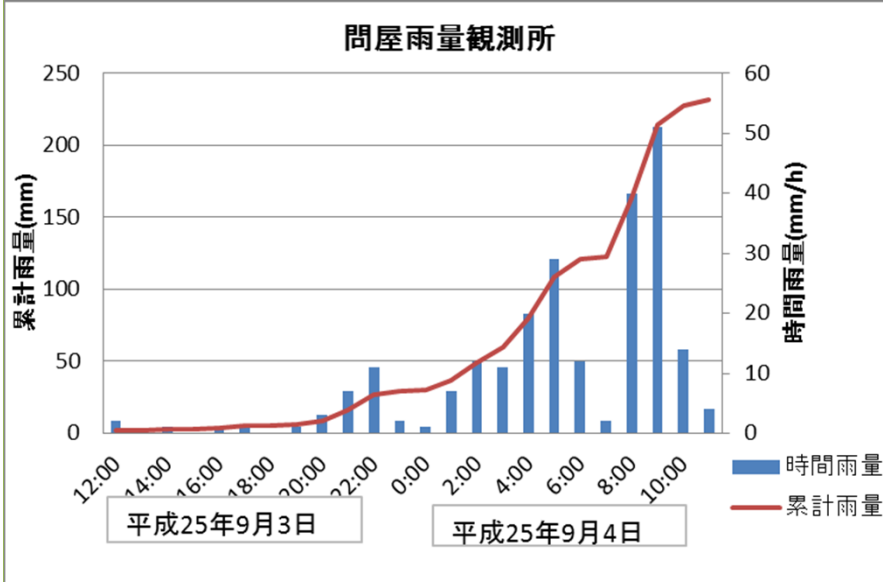
河床勾配が急な溪流において、流速を緩和し、流水による浸食や氾濫を防ぐことにより流水を安全に流下させました。



平成25年台風17号による出水状況と砂防施設の効果 (重信川流域)

降雨の状況

四国山地砂防事務所問屋雨量観測所
(愛媛県東温市河之内字問屋)



* 雨量は国土交通省「川の防災情報」のデータを元に作成したもので、累計雨量については平成25年9月3日9:00からの累計です。

出水状況(東温市高智谷)



砂防施設の効果(東温市根無谷)



溪流保全工が効果を発揮し、流水による浸食を防ぎ、安全に流下させました。



9月5日上空からの崩壊状況調査結果について

9月5日四国山地砂防事務所管内の斜面状況を四国地方整備局所有のヘリコプター「愛らんど号」で調査しました。調査の結果、大きな斜面崩壊は発見されませんでした。



過去の土砂災害発生時の状況と 今回の台風17号降雨との比較

吉野川上流域



吉野川上流域では平成16年8月17日に大川村・土佐町において2時間で200mmの猛烈な雨を記録し、連続雨量は1055mmに達しました。この豪雨により、周辺では同時多発的に土砂災害が発生し、多数の家屋や道路が被災しました。今回の連続雨量は342mm、最大時間雨量65mm(小松)にとどまりました。

南小川流域



南小川流域では平成5年7月28日に大豊町三津子野地区において土石流が発生しました。このときの連続雨量は1061mm、最大時間雨量は79mmを記録しました。今回の雨量は連続雨量261mm、時間最大雨量は35mm(沖野々)にとどまりました。



過去の土砂災害発生時の状況と 今回の台風17号降雨との比較

祖谷川流域



祖谷川流域では平成11年6月29日に梅雨前線による豪雨で、三好市(旧西祖谷山村)で複数の土砂災害が発生し、土石流によりホテルが被災するなど、甚大な被害となりました。このときの連続雨量は476mm、最大時間雨量は65mmでしたが、今回は連続雨量160mm、最大時間雨量42mm(善徳)でした。

重信川流域



重信川流域では平成11年9月15日に台風16号が襲来し、連続雨量250mm、最大時間雨量119mmという豪雨となったため、土石流が多発し、これを契機に流路工が整備されました。このときは短時間に降る雨の量が多かったことが特徴です。今回は連続雨量142mm、最大時間雨量31mm(山之内)でした。

